

令和6年6月17日（月曜）長崎新聞

回答者
白石 一
しらいし はじめ



はじめ歯科クリニック院長
(長崎市諏訪町)

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

妊娠中の歯科治療を行う時期については、緊急性がない場合は妊娠中期に治療するのが理想的です。妊娠初期は胎児の状態が不安定であり、妊娠後期はあ

ります。しかし、エックス線撮影においてはエックス線の照射部位が歯の周囲に限られ、さらに腹部は鉛製の防護エプロンで保護されます。治療の際に使用する麻酔薬は量がわずかで、局所で分解されるため胎児に与える影響はほとんどありません。内服薬が必要な場合も胎児への安全性が高いものを選んで処方しています。

【問い合わせ】歯の痛みがあるので、妊娠中でも治療を受けて大丈夫なのか知りたいです。（長崎市、26歳女性）

【答え】妊娠中でも歯科治療を行うことは可能です。エックス線写真撮影の際の被ばくや局部麻酔薬の胎児への影響などを心配されているのかと思いま

す。

【問い合わせ】歯の痛みがあるので、妊娠中でも治療を受けて大丈夫なのか知りたいです。（長崎市、26歳女性）

【答え】妊娠中でも歯科治療を行うことは可能です。エックス

おくちの
相談室

おむけの状態で長時間の治療が難しいからです。

緊急性がある場合には妊娠中期以外でも局所麻酔やエックス線写真を利用して治療することは可能ですが、応急処置にとどめておくこともあります。心配な方は歯科を受診する前に産婦人科の主治医に相談しておきましょう。

妊娠中の治療

検査も薬も安全性に配慮

妊娠中の歯科治療を行う時期については、緊急性がない場合は妊娠中期に治療するのが理想的です。妊娠初期は胎児の状態が不安定であり、妊娠後期はあります。しかし、エックス線撮影においてはエックス線の照射部位が歯の周囲に限られ、さらに腹部は鉛製の防護エプロンで保護されます。治療の際に使用する麻酔薬は量がわずかで、局所で分解されるため胎児に与える影響はほとんどありません。内服薬が必要な場合も胎児への安全性が高いものを選んで処方しています。

歯の痛みなどのストレスは胎児に悪影響を与える可能性があります。また歯周病は早産や体重児出産のリスクが高くなるといわれています。出産後は自分のことは後回しになり治療の時間が取りにくくなる方も多く、医院を受診することをお勧めします。